

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 24 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 11 日 作成

事務事業名	コミュニティ運営委員会助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 合志新一
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の育成	所属班	生涯学習班	(内線) 2421
				法令根拠	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	10	5	1	10815			コスト削減優先度評価結果	6*18

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成7 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業の内容】
 各コミュニティ運営委員会への補助金の交付
【業務の流れ】
 各運営委員長からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して各運営委員長からの請求書を受け、補助金を交付する。事業が終了したら、事業実績報告書を受理し、審査後、確定となれば確定通知書を送付する。
【主な予算費目】
 負担金補助及び交付金

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 中央コミュニティ運営委員会、須屋コミュニティ運営委員会、黒石コミュニティ運営委員会、野々島コミュニティ運営委員会、合生地区地域づくり運営委員会、南須屋区、須屋区、榎ノ本区、西須屋団区、東須屋区、堀川区、泉宮住宅区、上須屋区へ助成	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 中央コミュニティ運営委員会、須屋コミュニティ運営委員会、黒石コミュニティ運営委員会、野々島コミュニティ運営委員会、合生地区地域づくり運営委員会、南須屋区、須屋区、榎ノ本区、西須屋団区、東須屋区、堀川区、泉宮住宅区、上須屋区へ助成
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア コミュニティや地区公民館への助成金額 円 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) コミュニティ活動への参加者が増える	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 旧西合志地域の市民 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに取り組む仲間ができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア コミュニティ自主団体数 団体 → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 活動している生涯学習スポーツ団体数 団体 → イ %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	685	1,267	1,170	1,154	1,295	1,295		1,295
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		1
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80		80
(B)人件費計		千円	318	318	318	318	318	318	318		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,003	1,585	1,488	1,472	1,613	1,613	1,613		
活動指標		ア 円	1,003,000	1,585,000	1,488,000	1,154,000	1,613,000	1,613,000	1,613,000		
対象指標		ア 人	28,000	30,039	32,000	30,856	32,000	32,000	32,000		
成果指標		ア 団体				380	380	380	380		
上位成果指標		ア 団体 %	376	297	380	338	380	390			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 旧西合志町において、平成7年4月にコミュニティ指導員が設置され、各コミュニティを単位にした生涯学習活動の活性化を図る目的で、助成制度が始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 旧西合志町においては、従来からコミュニティ活動を単位とした地域づくりが主流となっており、人口の多さや年齢別構成には大きな差があるが、地域の状況に応じた活動が行われている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	コミュニティ運営委員会助成事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 旧西合志町においては、伝統的にコミュニティを単位として生涯学習や地域づくりの活動が行われてきた。助成金の交付は各コミュニティ活動での生涯学習活動の活性化に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 旧西合志町は、各地域の特色を打ち出した地域づくりを進めてきたが、地域住民の連帯感が生まれるような事業を行う目的で助成を行っている。各地域とも住民は年々新しくなることが多く、事業は継続して行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 各地区の活動が活発に行われるために妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ コミュニティ活動に参加している住民は固定化しているため、それ以外の住民をより多く取り入れることにより成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ コミュニティ単位で、住民主導の地域づくりを進めてきたが、助成金の廃止・休止が行われた場合、事業の縮小、廃止は避けられず、地域づくり活動が低迷していくと思われる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業がないため <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 助成金は、交付要綱に基づいて交付するため削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助金の交付事務は、主に申請時や実績報告時の書類審査であり、事務量も多くないので削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 各コミュニティに交付される助成金は、地域の人口を加味した算定方法に基づいているため。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、地域づくりが行われているので適切である。 ②有効性については、参加者が固定しているため見直しの余地がある。 ③効率性については、地域の不活性化につながるため削減は難しい。 ④公平性については、人口に基づいて交付しているため適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	7	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)